

習志野市議会議長
田中 真太郎 殿

開業当初から大幅に変質し業績も下降の一途をたどる
ボートピア習志野の撤退を求める陳情

(陳情項目)

開業時のスキームが大幅に変わり、下降の一途をたどるボートピア習志野の撤退の決議を求めるべく陳情します。

(陳情の趣旨)

2006年9月に「ボートピア習志野」が開業して本年(2018年)で12年目となります。ボートピア習志野は当初のスキームから大幅に変わってしまいました。

2015年3月にはボートピア習志野を賃貸して運営している「テックエステート」の親会社「東洋エンジニアリング」はボートピア習志野の所有不動産と子会社「テックエステート」の株式を全株売却してギャンブル事業から撤退しました。新たな株主は外資系の「ゴールドマンサックス」の関連会社と不動産会社「坪井工業」となってしまいました。

2017年4月には所有地の一部が「東京都競馬」に売却されてしまいました。「東京都競馬」は公営競馬である東京の「大井競馬場」の歩合家賃を主力に伊勢崎オートレース場も運営しています。当該土地は今のところは新たなギャンブル場にはなっていますが、ボートピア習志野はその駐車場を大幅に縮小して立体駐車場にしました。

さらに本年(2018年)4月からは、施行者は「場外発売事務」を委託していた「日本モーターボート競走会」から「テックエステート」に委託変更しました。モーターボート事業の専門でない「テックエステート」が以降は運営しています。

警備体制やボートピアへの通行の動線も当初から大幅に変わっています。地元雇用にも貢献しているとは思われず新習志野駅に快速電車も止まりませんでした。

一方売り上げは伸びることなく開業以来年々着実に下降の一途を辿り、環境整備費(1.5%)も年間1億円を下回りそうな状況です。

(開業以来直近までの売上推移と環境整備費・・習志野市ホームページより)

期間	開催日数	売上(千円)	前年比	一日当り 売上(千円)	一日当り 売上前年比
18年9～19年9月	359	14,201,269	----	39,557	
19年10～20年9月	348	16,177,576	+13.9	46,487	+17.5
20年10～21年9月	351	13,839,206	▲14.5	39,427	▲15.2
21年10～22年9月	349	12,379,982	▲10.5	35,472	▲10.0
22年10～23年9月	328	10,324,307	▲16.6	31,476	▲11.3
23年10～24年9月	347	9,775,016	▲5.3	28,170	▲10.5
24年10～25年9月	353	9,100,401	▲6.9	25,780	▲8.5
25年10～26年9月	352	8,000,096	▲12.1	22,727	▲11.8
26年10～27年9月	349	7,899,090	▲12.6	22,633	▲4.1
27年10～28年9月	350	7,689,146	▲2.6	21,969	▲2.9
28年10～29年9月	346	7,044,594	▲8.4	20,360	▲7.3
29年10～30年3月	178	3,457,648	-----	19,424	-----

環境整備費推移

期間	環境整備費(千円)	前年比
18年9～19年9月	213,019	-----
19年10～20年9月	242,663	売上比と同
20年10～21年9月	207,588	〃
21年10～22年9月	185,699	〃
22年10～23年9月	154,864	〃
23年10～24年9月	146,625	〃
24年10～25年9月	136,506	〃
25年10～26年9月	120,001	〃
26年10～27年9月	118,486	〃
27年10～28年9月	115,377	〃
28年10～29年9月	105,668	〃
29年10～30年3月	51,864	※6ヶ月

2006年9月に地元を中心とした多くの反対の声を無視して開業をしましたが、そのスキームや売り上げ計画も当初から大幅にかい離しています。習志野市は今こそギャンブル収入から決別して、ポートピア習志野からの撤退をすることを求め陳情いたします。

2018年5月25日
 習志野市香澄 2-1-6
 川辺俊一
 TEL [REDACTED]



市民会館跡地を業者に賃貸する計画を中止にする陳情

陳情趣旨

大久保地区公共施設再生事業に関して、昨年、市民会館にて設計施工のスタート社より、全体の設計説明がありました。

全体説明の最後に、設計後余った土地に、ワンルームマンションを建てるという。

余った土地というのは、現在市民会館の建つ、駅前の一等地です。

一番良い駅前に空き地が、とは、設計当初から考えていたとしか考えられません。

その土地は習志野市からスタート社に50年間賃貸契約をするという。

この駅前の土地は、大久保住民の300年近くほども前からの歴史ある墓地を市有地にしたのは、初代習志野市長をされた、白鳥義三郎市長と墓地所有の大久保住民方々の協力があつての事です。

白鳥市長は、戦前ベルリン工科大学建築科を出られて、教職に就かれており、都市計画も詳しく、戦後、選挙では初の津田沼町町長に。(全国町村会長もされました)

敗戦後の日本を復興するには教育が重要と、元軍用地に東邦大学、日大、千葉工大、順天堂大学を誘致、又、引揚者、戦災被害者等の住いとししました。

津田沼町から習志野市にし、初代市長になりました。

また習志野市になったばかり、人口34,000人としては異例の市立習志野高校を設立されました。(円形校舎、旧習志野市役所の設計にも携わる)

京成大久保駅前の墓地は町の繁栄の為には都市計画のネックだったはず。

長年の墓地所有の住民との交渉は大変だったでしょう。

大久保の住民は、土地を無償で提供し、薬師寺の納骨堂に納骨されました。

白鳥市長も津田沼に菩提寺が有りながら、今大久保の納骨堂に入られています。

住民との約束だったのでしょうか。

先祖代々から子々孫々の為にと、大久保の方々の想いの土地を、50年間業者の、収益物件となるマンションにするなど、本来の趣旨から外れています。

行政に携わる心ある方々もそう思われているでしょう。

大久保、本大久保にマンションが建ちつつあり人口が増えて行くでしょう。

益々、市有地を必要とします、上記を熟慮し、

市民会館跡地を業者に賃貸する計画を中止されますよう陳情いたします。

平成30年5月29日

住所 習志野市藤崎4丁目8番43号

氏名 さかい もとあき 坂井 元昭

電話番号 [REDACTED]

習志野市議会議長 田中真太郎 殿 あて



小中学校の普通教室すべてにエアコンの設置を求める請願

紹介議員

荒原ちえみ

木村 孝

谷岡 隆

立崎 誠一

入沢 俊行

宮内 一夫



小中学校の普通教室すべてにエアコンの設置を求める請願

請願趣旨

地球の温暖化、住環境の変化等により毎年のように気温が上昇してきています。習志野市の小中学校の普通教室は、昨年7月の13日間のうち28度を超えた日は最も多い小学校で13日間、中学校でも13日間です。9月の20日間のうち28度を超えた日は最も多い小学校で11日間、中学校でも11日間です。現在常設されている扇風機だけでは限界です。熱中症で体調を崩す子ども達が出るなど健康面が心配です。

近隣市のうち、船橋市、市川市、浦安市では小中学校の普通教室にはエアコンが設置されています。八千代市では2018年度にエアコン設置の調査をします。子ども達が学校で過ごす時間の多くは普通教室です。習志野市でもすべての普通教室にエアコンを設置して子ども達の学習環境を整え、学習に集中できるよう強く求め、下記事項を請願いたします。

請願項目

- 1 習志野市内の市立小中学校の普通教室すべてにエアコンの設置を求めます。

地方自治法第124条の規定より、上記のとおり請願します。

2018年5月29日

提出者

習志野市津田沼 6-1-30-406

新日本婦人の会習志野支部

支部長 角田 由利子

習志野市議会議長 田中 真太郎 殿